Ｏｃｔ　２０１５　Ｎｏ．５４

大垣市金生山化石館

化石館だより

コラム

学名について

動物や植物などの生物には、それぞれを識別するための名前「標準和名」が付けられています。けれども身近な生物である魚介類や昆虫、植物などは俗名や地方名、商品名など様々な名前で呼ばれることもあり混乱します。学問の世界では、こうした混乱を避けるために「学名」という世界共通の名前が用いられます。化石生物は、ほとんどが学名で識別されていますので、今回は学名について説明します。

赤坂石灰岩の代表的なフズリナ化石である *Yabeina*（ヤベイナ）。この「*Yabeina*」という名称は、属名と言ってヤベイナの特徴をもったフズリナ全体を表しています。ヤベイナの仲間にはいくつもの種類があり、その一種である有名なグロボーサを表すには、*Yabeina globosa*(Yabe, 1906) のように表現します。

化石に限らず、生物の特定の種を表す学名は、「二名法」といって「属名」と「種名」を連ね、ラテン語によって表記されます。この表記法は、「分類学の父」と呼ばれるリンネによって体系化されました。「ヤベイナ・グロボーサ」の場合は、「*Yabeina globosa*」と表記することで、”*Yabeina* という属の *globosa* という種である”という意味になります。尚、属名と種名は、地の文と明確に区分できるようにイタリック体を用いるのが一般的です。学名の後ろに括弧書きで Yabe と記されているのは、この種に名前を付けた人物が Yabe という人であることを示しています。また括弧にくくられていることから、初めは *Yabeina* 属ではなく別の属に分類されていたことが分かります。

「ヤベイナ・グロボーサ」は、矢部久克によって発見され、*Neoschwagerina*（ネオシュワゲリナ）の仲間と考えられ、丸い形の特徴から *globosa* と名づけられました。ですから、*Yabeina globosa* は、発見当時は *Neoschwagerina globosa* だったのです。その後、フランス人の Deprat という学者によって新しく *Yabeina* 属が設けられ、ここに編入されました。*Yabeina* という属名は発見者である矢部久克を称えて付けられたものです。また名前の後の数字は矢部が *globosa* を記載した年号です。命名者と新しい属に移した人物を両方とも引用する場合は、*Yabeina globosa*(Yabe, 1906) Deprat のように表記されます。

単体のヤベイナ

学名の付け方には国際命名規約という厳格なルールがあり、動物には「国際動物命名規約」、植物には「国際藻類・菌類・植物命名規約」、細菌には「国際細菌命名規約」が設けられています。こうしたルールのもとに一つに種に対して一つだけの学名が与えられるのです。また、表記の仕方などについても細々

とした取り決めがあります。

　こうした厳格な決まりがあっても同一の種に別々の人物が命名してしまう場合があります。こういう場合はシノニム（同物異名）と言って、通常は先に発表された学名が有効となります。属の場合にも同様のことが生じます。1968 年に尾崎公彦によって金生山で発見されたシカマイア・アカサカエンシス（*Shikamaia　akasakaensis*）は、現在 *Alatoconcha* 科の二枚貝として分類され、*Shikamaia* 属に編入されています。シカマイア・アカサカエンシスは発見された後ほとんど注目されませんでした。そのため、この貝によく似た化石がマレーシアなどから発見され、タンチントンギア（*Tanchintongia*）という新属が設けられたのです。その後の研究の結果タンチントンギアとシカマイアは同じ属であることが分かり、シカマイアの方が先に発表されていたことから、シカマイア属が正式に認められることになったのです。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆　　お 知 ら せ　　◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

美しく不思議な貝の世界

　　１０月１０日（土）から、後期の企画展、「美しく不思議な貝の世界」を開催します。岩田稔氏（故人）の寄贈コレクションから「美しい色と模様」「不思議な形」「珍しい貝・貴重な貝」などの視点で選んだ貝を展示・紹介します。是非ご覧ください。

金生山自然講座

後期の自然講座を下記のように計画しています。

いずれも午前９時から１１時まで。４年生以上を対象に２０名まで受け付けます。

参加費は２００円です。電話またはファックスにて化石館へ申し込んでください。

１０月１８日（日）　陸貝を採集して観察しよう

１０月２５日（日）　アンモナイトを磨いて断面を観察しよう

１１月　８日（日）　化石を採集して観察しよう

問い合わせ：　大垣市金生山化石館　　電話　（0584）71-0950　（ファックスも同じ）
Email　kasekikan@vanilla.ocn.ne.jp